



K中通信

学校だより 5号
令和3年7月19日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます (知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます (体・開)

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

夏休みを前にして

校長 佐藤 由利

7月に入り、全国的に雨の多い日が続きました。近年、長く続く雨による災害も増えていて、(図書委員さんの「気になる記事」にもとりあげられていましたね)被災した地域の状況を思うと胸が痛みます。ハザードマップを見てみると、この軽井沢中の学区にも「土砂災害警戒区域」に指定されている場所があることがわかります。皆さんも時間のある時に横浜市のホームページを見てみて下さい。また、いつも通っている通学路に危険な所はないか、この機会に別の視点で自分たちの住む地域を見てみましょう。

本来ならば、4月からこれまでの学校だよりには、校外学習や体育祭での皆さんの活動の様子、がんばった姿を伝える記事が掲載されるはずでした。けれど、残念ながらどの行事も延期になってしまい、9月に計画されている各学年の校外学習も予定通りに実施できるかどうか、現段階ではまだ何とも言えない状況です。8月後半には改善の見通しが立っていることを願うばかりです。

6月25日、「よこはま子ども国際平和スピーチコンテスト西区審査会」が老松中学校で行われ、3年2組の浦崎雅之助さんが、軽井沢中の代表としてスピーチをしました。(共通テーマは、「国際平和のために、自分がやりたいこと」SDGsに基づく17の視点から発表することになっています。)題名は「ぼくたちは、地球人」。日常的な触れ合いの中で気付いた、国や言葉や文化の違いを乗り越えて分かり合おうとすることの大切さ、そのために自分が今後取り組んでいきたいことについて堂々とスピーチしました。文章の組み立てがしっかりしていて、聞き手に伝わりやすいスピーチであったことが、審査に当たった西区の校長先生方からも評価されていました。

6月中旬から部活動では、3年生最後の夏の大会も始まりました。

部によっては3年生の人数が少なく、決して恵まれた条件とはいええない状況です。また、一緒に応援に行った3年生の先生方によれば、日々の学校生活では「穏やかな」「優しい」3年生が多いということです。

試合によっては、苦しい展開もありましたが、どの試合も3年生皆、(もちろん2年生も)最後まで手を抜くことなく、一生懸命にプレイしていました。結果ではなく、応援したくなる、心から拍手を送りたくなる。そんな軽井沢中生の姿を見ることができて、私はとても嬉しかったです。

試合の翌日校長室に来てくれた3年生に、「やりきった?」と聞いたら皆、明るい笑顔で「はい!」と答えてくれました。中には悔いが残った人もいるかもしれませんが、その思いも必ず「次」につながります。部活動はこれで一区切りですが、中学校生活はまだまだこれからです。この先半年、3年生がどんな姿を後輩たちに見せてくれるのか、とても楽しみにしています。

9月・10月は期末テストや様々な行事が予定されており、忙しい毎日になりそうです。夏休み、十分に休養を取って備えてください。8月30日、皆さんが元気に登校してくれることを願っています。